

(工事・作業又は行事) 許可申請書

2023 年 9 月 12 日

清水海上保安部長 殿

申請者所属・氏名 静岡大学理学部生物科学科・竹内浩昭

(スキューバダイビングクラブ「海人会」顧問)

1 目的及び種類

行事許可申請

2 期間及び時間

期間：3か月（9月1日から11月末日）

頻度：毎週木曜日と土曜日

時間：木曜日14時～15時（夏休み期間の8月1日～9月30日と春休み期間の2月1日～3月31

日は土曜日と同様11時～12時）、土曜日11時～12時

3 区域又は場所

静岡市清水区三保真崎海岸



ダイビングを行う範囲やEn(エントリー)、Ex (エキジット) をする場所は右図に記載のとおり。

4 方 法

En、Ex場所にA旗を2本立て、近辺を通る船舶がダイビング実施状況を認識できるようにしてからEnする。

5 そ の 他

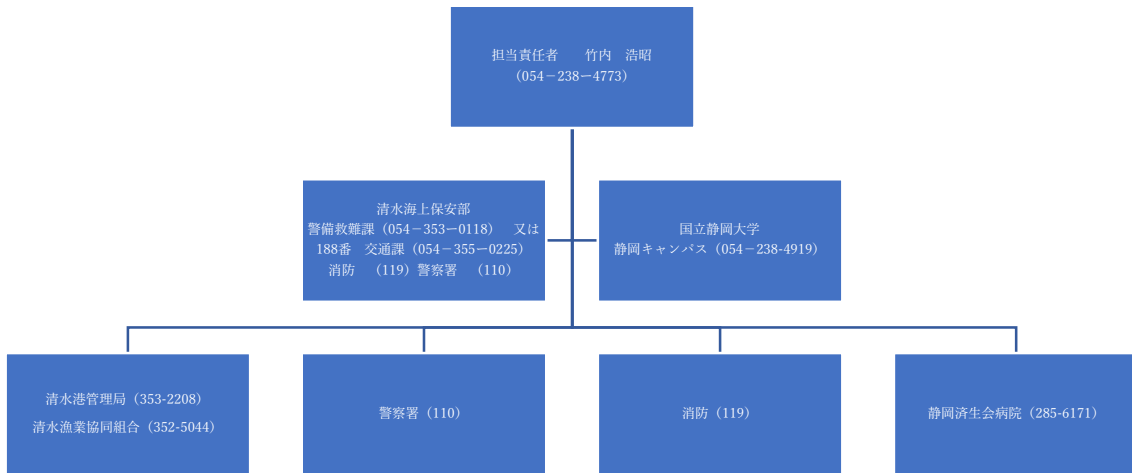
- ・駿河湾フェリーなど、大型船舶が通行しないエリアでダイビングを行っている。
- ・En,Exを同じ場所にしており、船が通るのに影響のない安全な場所に設定している。
- ・En,Ex場所にはA旗を立て、通行する船舶や釣り人にダイビングをしていることを知らせている。
- ・船舶が通行する音が聞こえた際には安全のためExしないようにする。
- ・海面の状況を確認し、船舶などが通っていないか確認した後、念のため右手を挙げたままExするなど安全面を重視し二重で厳重に注意している。
- ・ダイビング中に何かあった際にすぐ海上保安庁や病院に連絡など救命措置をとれるよう

に、また、釣り人やボートをしている人にもダイビングしていることを注意喚起できるように、陸に必ず2人以上待機させている。

- ・潮の潮汐などを確認し、安全を考慮したコース設定をしている。
- ・少しでも海が荒れていると判断した場合には潜る前にダイビングを中止する。
- ・ダイビングショップ（ブルーマリン静岡）に所属するプロのダイビングインストラクターからライセンス講習や指導を受けながら部活を行っている。
- ・潜水時には、陸に「潜水中」と書かれた横断幕を設置する。

緊急連絡体制図

部活動実施箇所（三保真崎海岸）



安全対策と方法

緊急時マニュアル

1. 一般的注意事項

(1)

1, ダイビング中に地震発生

清水区の津波の予測到達時間は最短で2分とされている。そのため避難には各自が避難場所を把握し迅速な対応が必要となる。

★潜っている人

津波の到達時間が早く浮上してから避難する時間はない。そのため水中で地震とわかったらまずバディとはぐれないようにし、残圧を確認する。すぐに引き波が発生し急激な流れの変化が生じるため中層には行かず水底を沖のほうへ移動する（この時、沖提・ゴロタに打ち付けられないように遠ざかる、**このためにもナイフは絶対必要**）。波による上下動が少ない沖合まで移動したら BC に吸気し浮遊物や頭上の船に注意しながらゆっくりと浮上する。同様の避難行動をとる船の助けを待ち漂流する。

【水中で観測される地震の兆候】

- ・音：爆発音や破裂音、地響きやボートのエンジンに似た音が聞こえる

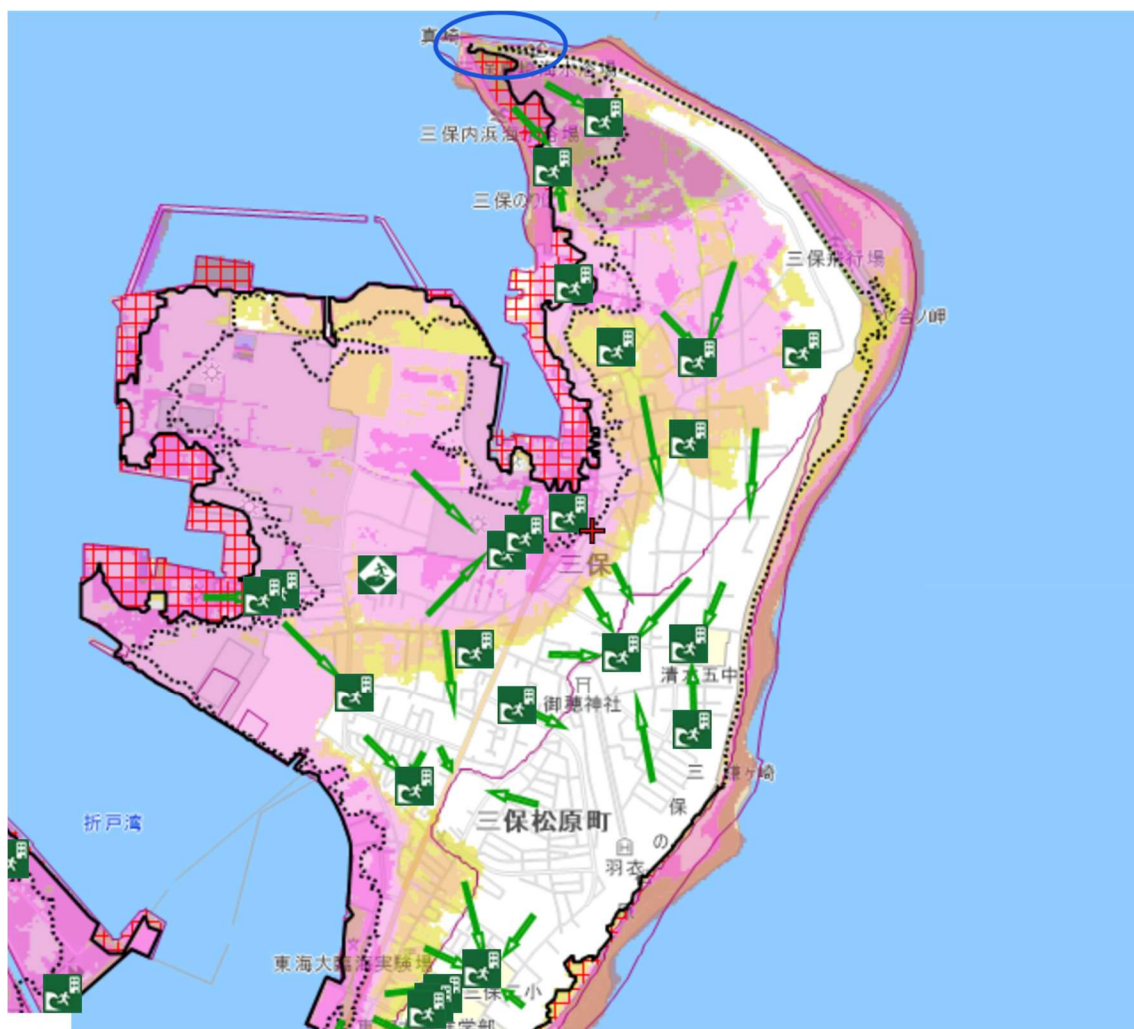
- ・水中の生物：普段とは異なる行動をとる
- ・水底：岩礁やサンゴ・海藻が揺れ動き海底の砂が巻き上げられることで急激に視界が悪くなる。

【浮上直後】

すぐに器材を捨て身軽にしてから津波避難場所まで走って逃げる。

避難場所

- ①東海大学三保研修館（徒歩5分）
- ②三保シーサイドホテル福田屋（徒歩6分）



出典：静岡市防災情報マップ（静岡市 危機管理総室）2023,08,11

2, ダイビング禁止となる注意報・警報

- ・津波注意報、警報
- ・波浪注意報、警報

- ・雷が鳴っている時
- ・台風が接近している時
- ・

3. 対生物のトラブル

【ガンガゼ、カサゴ】

①棘が残っていれば、直接触らず、まっすぐに抜く。ガンガゼの棘はピンセットでは碎けてしまう可能性があるため針などを用いて丁寧に取り除く。

②痛みを和らげるため 30 分～1 時間程度、患部を 40℃～45℃の湯につけ、不活性化させる。または、食酢を浸したガーゼを患部に当てる。

③皮膚下に残った棘は分解されるか、抜けることが多いが、放置すると長引く恐れもあるため、医療機関を受診する。

参考

国土交通省 [ガンガゼ科 | 生物被害対処ガイド \(nilim.go.jp\)](https://nilim.go.jp) 2022/09/30

【ウツボ】

傷口を洗い、消毒をする。布などで覆い、止血する。傷口が大きい場合は医療機関を受診する。

4. 減圧症

減圧症は潜水後に水中の高圧環境から常圧環境に移動したときの急激な環境圧の変化によって生じる。

主な症状・・・関節痛・頭痛・倦怠感・めまい・吐き気。

☆症状が現れたら

まずブルーマリン (054-237-1290) に相談、繋がらない又は緊急性がある場合は静岡済生会総合病院(054-285-6171)で受診する。

5. 潜った人が帰ってこない場合

- 1.海上保安庁に電話 (1 1 8)
- 2.消防に電話 (1 1 9)
- 3.警察に電話 (1 1 0)

帰ってこない人を把握するためにも毎回必ず陸番は人数確認を行う。

6. 水中でデコが出た時

ゆっくりと浮上し-3~-5m で減圧停止を行うこと。ダイコンがノンデコになるまで停止

エアが持たない場合は浮上速度 (10m/分) に注意し浮上。

※デコがでたまま浮上するとダイコンが 48 時間ロックされる (潜水禁止)。故障ではない。

7. 水中でのエア切れ

バディにエア切れのサインを出してエアをもらう。どちらもエア切れを起こしている場合息を吐きながら浮上する。

※対策としてバディ間でのエアチェック、エア 2or オクト確認の徹底。バディチェックでハンドサインの確認

8.船舶の通行に関する注意点

- ・ 潜る範囲の両端に A 旗を 1 本ずつ立てる。
- ・ 浜に陸番を待機させる。
- ・ ダイビングするバディごとにフロートを所持。
- ・

作成者

50 代安全対策委員会委員長 竹内敦美

副委員長 中田育朗